

# 新春のごあいさつ



## 周防大島町長 中 本 富 夫

明けましておめでとございませう。

町民の皆様におかれましては、夢と希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。常日頃より町政の推進につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、我が郷土「山口県から八人目の宰相」として、安倍晋三内閣総理大臣が誕生いたしました。衷心よりお祝いとお喜びを申し上げます。安倍総理は、「美しい国創り内閣」を掲げ、その実現のため魅力ある地方の発展を支援し地方分権を進めるとしており、益々のご活躍が期待されております。

さて大島郡四町が合併し、「周防大島町」が誕生して早くも二年余が経過いたしました。これから十年、二十年後に皆様から「合併して良かった」と言われるように行財政基盤を強化し、真に持続可能な自主・自立の町づくりを目指してまいります。そのため、「元気にここに安心で二十一世紀にはばたく先進の島」を町民共通の将来像に掲げ、産業振興、福祉の充実、生活基盤の整備など、魅力的な定住環境づくりの各種諸施策に取り組んでいるところであります。

本年は、かねてより建設中の「大島斎場」が二月に、七月に「東和庁舎・星野記念館」が、さらに十二月に「一般廃棄物最終処分場及びリサイクルセンター」がそれぞれ完成し、供用開始の運びとなります。

また本町は、県内唯一「東南海・南海地震防災対策推進地域」に指定されており、今後三十年以内に五十から六十パーセントの確率で震度六弱の大地震が発生し、約九十分以内に最大波高三メートルの津波が大島沿岸に到達すると予想されております。その津波や災害情報等をいち早く住民へ伝達する手段の一つとして、町内全域の屋外や屋内等に「防災行政無線」を設置する事業に着手しております。

私といたしましては、これからもすべての町民の皆様方が、安心して快適な暮らしができるまちづくりを目指し、皆様方とともに知恵と工夫を出し合いながら、一歩一歩着実に前進してまいれる所存でございます。

新しい年が町民皆様にとって、幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、新春のごあいさつといたします。